

在モンリオール総管轄地域内の概況(2024年3月)

(公開情報に基づくもの)

1 政治

(1) ケベック(QC)州

- ・3月4日、州政府は、運転免許証と健康保険証の性別欄に「X」表記を認めることを決定。出生証明書類では既にX表記が認められており、トランスジェンダーやノンバイナリーの人々は同措置の適用拡大を求めている。
- ・3月4日、フレシェット州移民大臣は、ミラー連邦移民大臣が家族呼び寄せプログラムにおいて州が定めた上限(年間1万件)を超える数の永住者申請を処理するとの決定について、州の管轄侵害であるとして強く非難。連邦大臣は、QC州における同カテゴリーの永住申請処理時間が他州に比べ長過ぎるための決定と説明。
- ・3月6日、モンリオール地域の2つの中国系コミュニティ組織とその理事でブロッサール市議のリー氏は、中国の「警察署」と疑われたことは名誉棄損であるとし、連邦警察(RCMP)を提訴。8日、リー氏は、同じ理由でアサド・ブロッサール市長を提訴。
- ・3月12日、ジラル州財務大臣は、2024年度州予算を発表。110億加ドルの記録的な赤字。また電気自動車購入補助金プログラムの段階的廃止も発表(2024年7000加ドルから2025年4000加ドルとなり、最終年の2026年には2000加ドルに減少する)。
- ・3月15日、モンリオールでルゴー・トルドー州・連邦首相会議開催。ルゴー州首相が求める、亡命希望者の州への流入を抑制・削減する要請はトルドー連邦首相に拒否される。
- ・3月21日、モンリオール市は、中国政府が保有する旧シュライナーズ病院の土地に対する固定資産税が未払いであるとして、同国政府に対して360万加ドルの支払いを求める。中国政府は2019年、領事業務移転のためモンロワイヤル公園の保護区域内にあるこの土地を1750万加ドルで取得したが、移転のための工事許可申請も未提出の状況。
- ・3月23日、2月29日に死去したマルルーニー元連邦首相の国葬がモンリオールで執り行われる。
- ・3月27日、ジョラン＝バレット州法務大臣は、子供を持つ事実婚カップルに、結婚・シビルユニオンのカップルと同等の法的権利と義務を与える制度の創設を目指す法案を議会に提出。
- ・3月27日、州・連邦両政府は、37億加ドルの保健協定を締結。協定には、高齢化する州民の在宅介護や長期介護施設へのアクセス改善のための支出等が含まれる。
- ・3月28日、ルゴー政権と野党は、州選挙区の区割り改定を2030年総選挙まで延期することで合意。2026年州総選挙から適用される予定であった新区割り案では、ガスペとモンリオールで1選挙区ずつ減少。

(2) ニューファンドランド・ラブラドール(NL)州

- ・3月1日、ワー州議会議員(自由党)は、民間の仕事に戻るため辞職。
- ・3月21日、コーディ州財務大臣は、1日遅れで2024年度予算を発表。漁師のデモを避けるため、州議事堂に前夜から泊まりがけで発表に臨んだ大臣に対し、野党・無所属議員は漁師への連帯を示し欠席。予算は歳出104億加ドル、1.52億加ドルの赤字。医療部門への支出は過去最高の41億加ドル(予算全体の40%)。

・3月31日、ニューファンドランドがカナダ連邦に加盟して75年を迎える。

(3) プリンズエドワードアイランド(PEI)州

・3月28日、PEI 大学とホランド・カレッジは、連邦政府の学生ビザ発行数削減の決定を受け、留学生の授業料デポジット(前払金)を1000加ドルから5000加ドルに引き上げ。

(4) ニューブランズウィック(NB)州

・3月19日、スティーブス州財務大臣は、2024年度予算を発表。歳出133億加ドル、4100万加ドルの黒字。経済成長の大幅な減速を見込み新たな減税措置は行われず。

・3月28日、ヒッグス州首相の進歩保守党(PC)政権がさらに議員を失う。閣僚を務めたアラン(1日)・シェパード(21日)両氏は次期総選挙に不出馬、ホルダー氏(28日)は5月までに辞職すると発表。2020年の前回総選挙で当選した後に辞職または不出馬を決めたPC議員はこれで10人。

2 各州世論調査結果

(1) 州政党支持率

・QC州(レジェ(Leger Marketing)調べ、3月15~18日、以下同じ): ケベック党(PQ)34%、与党ケベック未来連合(CAQ)22%、ケベック連帯(QS)18%、自由党(PLQ)14%、ケベック保守党(PCQ)10%、その他2%

(2) ケベックの独立

・QC州: 賛成36%、反対53%、分からない11%

(3) 連邦政党支持率

・QC州: ブロック・ケベコワ(BQ)30%、与党自由党27%、保守党23%、新民主党(NDP)14%、緑の党3%、その他3%

3 経済

(1) QC州

・3月5日、Just for Laughs/Juste pour rire グループは、債務超過と赤字を理由に、2024年の「笑いのフェスティバル」他7公演を中止。同グループは、CHグループ傘下のプロモーターEvenko とベル・メディアが過半数(51%)を保有。モントリオールでは、高騰する経費に苦しむ他のフェスティバル運営団体も業界の脆弱性を懸念。

・3月8日、エアカナダは、モントリオール・ソウル直行便就航を発表。週4便、夏季限定。

・3月21日、州の地下には、温室効果ガスを発生させず、グリーン水素のような人為的な製造の結果でもない燃料である天然水素が「商業規模の量」存在する可能性がある。州政府の依頼で州科学研究所(INRS)が初めてこの件で調査を実施。

・3月26日、レヴィのデイヴィ造船所は、カナダ国家造船戦略の一環で、6隻の砕氷船の設計契約を初めて受注。

・3月26日、モントリオール空港の2023年の旅客数は、コロナ前を上回る過去最高の2120万人に達す

る。

・3月27日、ルゴー政権は、ホンダのEV電池工場誘致のため、電池製造に不可欠な水酸化リチウムを確実に調達できるように、州政府が保有するネマスカーリチウム株の一部提供をホンダに提案したとの報道。既にホンダが拠点を置くオンタリオ州も同社の新工場の有力候補地とされている。

(2) 大西洋4州

・3月11日、連邦漁業省は、NS・NB州における2024年のウナギ稚魚漁を中止すると発表。密漁が手に負えない状況となっており、規制措置が整備されるまでは漁を再開しないとのこと。

(3) NL州

・3月18日、カナダとドイツは、カナダで製造された水素をドイツに輸出する貿易プログラムを確立する覚書を締結。NL・NS両州で進行中のグリーン水素プロジェクトが念頭。

・3月20日、より自由な取引を求める漁師数百人が州議事堂前を占拠。予定されていた州予算発表が延期となる。22日、漁師の代表は、漁獲物を州外に販売すること、ならびに加工量の上限を引き上げる方向で政府と合意したと発表。

(4) PEI州

・3月27日、損害保険のThe Insurance Company of Prince Edward Island (ICPEI、本社シャーロットタウン)は、QC州のデジャルダングループに買収される。

(5) NS州

・3月11日、Chronicle Herald (NS), Guardian (PEI), Telegram (NL)等、大西洋州の地方紙23紙を保有するソルトワイヤー(SaltWire)は、債権者保護を申請。

・3月11日、水産加工大手ハイライナー・フーズ(本社ルーネンバーグ)は、北朝鮮人労働者を使用したとされる中国企業(Dalian Haiqing)と取引していたことについて、独自の調査を始めたと発表(同中国企業とは既に取引を中止済みとのこと)。ジャーナリスト団体「The Outlaw Ocean Project」によるウイグル人強制労働に関する調査に続き、北朝鮮人強制労働に関する調査の中でも言及されたのを受け。

・3月18日、ヒューストン州首相は、今年始まった州のワイン生産者補助金プログラムの停止を発表。州政府は、新プログラムは国際貿易法に則ったものであると説明していたが、州外や海外産のぶどうを使ってワインを大量生産する一部大手企業に有利なものだとして、地元ワイン生産者から強い反対の声が上がっていた。

(了)